

平成28年度 学年 [1年] 教科 [国 語]

教科・分野		週時間数	クラス	担当者	
国語総合 (現代文)		2	A・B・C・D・E	周藤	
目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成する。 ・伝え合う力を高めると共に、思考力や想像力及び心情を豊かにする。 ・言語文化に対する関心を深め、言語感覚を磨く。 ・国語を愛し、国語力の向上を図ろうとする態度を育てる。 			
大切に育てたいもの		聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
		<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて情報を分析し、効果的に表現すること。 ・目的に応じて、表現方法を工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を豊かにし、効果的な表現や推敲を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の意図や描写を適切に把握し、表現を味わうこと。 ・自らの考えを深め、さらに考察すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字力 ・語彙力 ・文法知識
学期	考査	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
一 学 期	中間	(評論) 他者を理解するという こと (小説) 羅生門		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方や考え方を読み取り、「他者」とのコミュニケーションに関心をもつ。 ・近代小説の名作に親しみ、表現に即して文章を味わう。 	
	期末	(小説) 羅生門 (評論) 空気を読む (詩・短歌・俳句)		<ul style="list-style-type: none"> ・近代小説の名作に親しみ、表現に即して文章を味わう。 ・筆者の主張を読み取り、問題意識を深める。 ・詩・短歌・俳句に親しみ、形式や表現の特色を理解する。 	
二 学 期	中間	(小説) 良識派 (日本語) 言葉についての新しい認識		<ul style="list-style-type: none"> ・寓話的な内容を捉え、物の見方や考え方を深める。 ・日本語や言語一般に対する、関心や理解を深める。 	
	期末	(さまざまな文章) 学位を頂きたくないのであります (評論) メディアとしての顔		<ul style="list-style-type: none"> ・文豪の手紙を読んで、表現上の特色や意図を理解する。 ・筆者のものの見方や考え方を読み取り、自らの考えを深める。 	
三 学 期	期末	(小説) なめとこ山の熊 (表現) ディベート・小論文		<ul style="list-style-type: none"> ・作品の構成・展開を正しく捉え、人間の生き方について考察する。 ・論理的に自分の考えを組み立て、豊かに表現する力を身につける。 	
評 価 の 方 法		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・書き取り50問テスト・読書記録・漢字ノート・短歌の創作・小論文・発表 その他の提出物・授業態度 など 			
学習活動の特徴		<ul style="list-style-type: none"> ・講義形式・発表形式・ディベート形式・班活動形式 など 			
授 業 の 形 態		クラス一斉授業			
使 用 教 科 書		『精選国語総合』大修館書店			
使 用 副 教 材		<ul style="list-style-type: none"> ・『頻出漢字マスター3000』尚文出版 ・『国語総合ガイド』京都書房 ・週末課題の問題集二～三冊 			
用 意 す る も の		教科書・ノート・国語辞典・国語総合ガイド			
備 考		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字小テストは週一回実施。 			

平成28年度 学年 [高1] 教科 [国語]

教科・分野	週時間数	クラス	生徒数	担当者
国語総合 古典	3	A～E	164	石井美香
目 標	古典を読むことを通じて、日本の文化・伝統についての認識を深め、古典の世界に親しもうとする態度を養う。			
大切に育てたいもの	読む	言語事項		
	内容を構成や展開に即して的確にとらえる。	読解に必要な文法事項や重要古語を身につける。		

学期	考查	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	『絵伝師良秀』動詞の活用 漢文訓読のきまり・故事成語	古文に親しみ、的確に内容を読み取る。 漢文に親しみ、漢文の表現に慣れる。ものの見方・考え方を広げたり、深めたりする。
	期末	『阿蘇の史』形容詞・形容動詞 古代の史話	人物・情景・心情などを表現に即して読み味わう。 長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。様々な人物像を通して人間の生き方について考えを深める。
二学期	中間	『徒然草』助動詞 『枕草子』敬語 古代の史話	自然や人間に対する作者の見方・感じ方・考え方を理解する。 様々な人物像を通して、人間の生き方について考えを深める。歴史物語の面白さを味わう。
	期末	『伊勢物語』助動詞 和歌の修辞 『唐代の詩文』	登場人物の性格や心理の動きを読み取る。本文中の和歌の役割について理解する。 漢詩の形式や表現について理解する。繰り返し音読み、漢文独特の口調を習熟する。
三学期	期末	『平家物語』文法のまとめ 『孔子と孟子の思想』	軍記の文章表現の特色について理解する。戦いの中での人間の心理の動きを読み取る。 学問・政治や為政者に対する考え方を知り、それについての考えを深める。
評価の方法		定期考查 関心・意欲・態度	
授業の形態		一斉授業 講義形式	
使用教科書		大修館書店 『精選 国語総合』	
使用副教材		新国語総合ガイド 必携古典文法 新明読漢文	
用意するもの		上記に加え、古語辞典・漢和辞典・書き込み用プリント	
備 考		週末課題として家庭学習用の問題集を課す	